

ICANN59 Johannesburg: New gTLD Subsequent Procedures PDP WG の現状

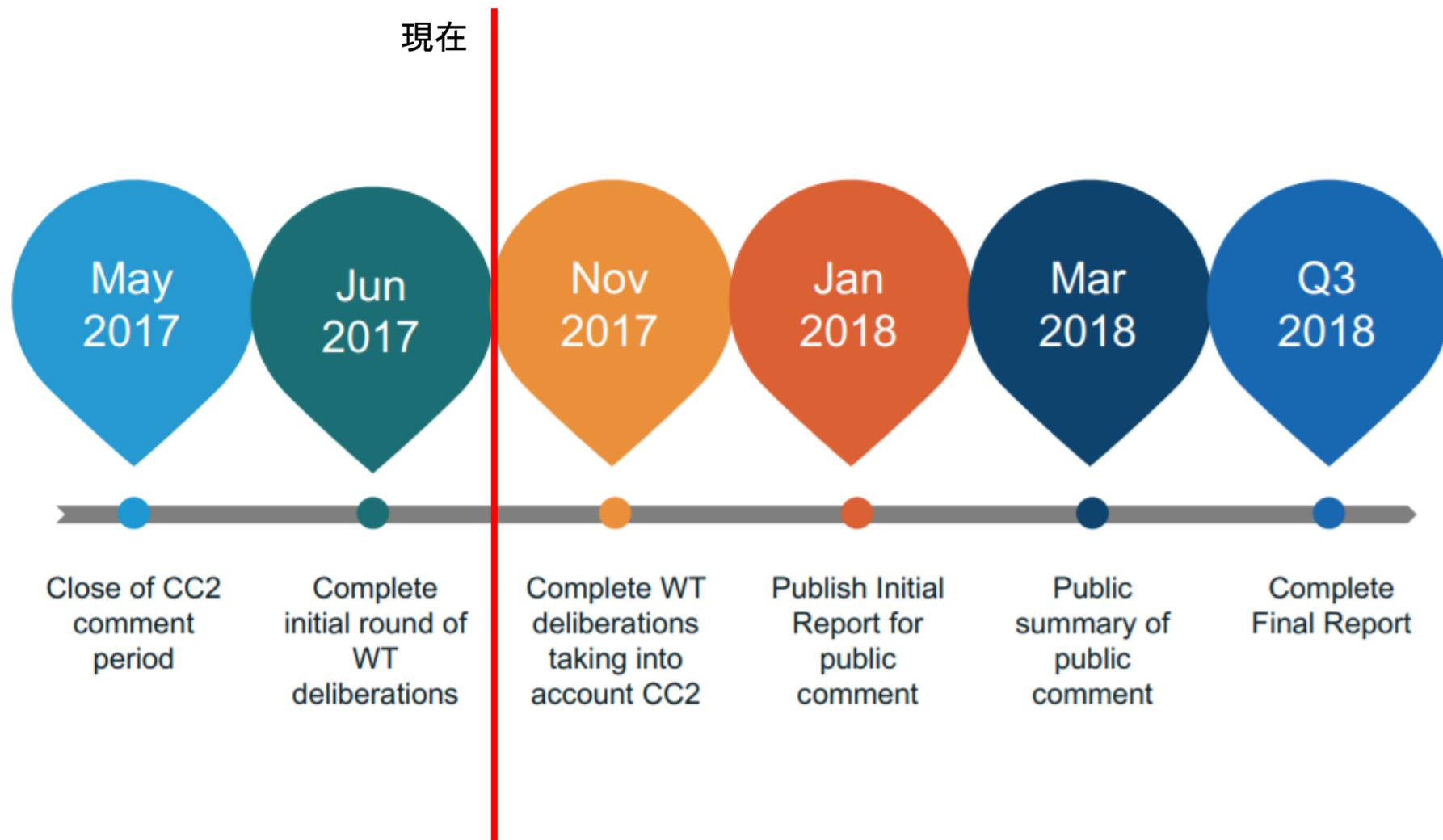
2017年8月8日

by Michael Flemming

- 新gTLDに係る全体のタイムライン pg 4
- 次回新gTLD申請受付ポリシー策定の現状について pg 6
- ICANN59の動き pg 11
- Geographic Names at the Top Level pg 15

- 新gTLDポリシーとポリシー策定のスケジュール。
- 新gTLDポリシー策定の課題。
- トップレベルの地理的名称について今後の進め方。

新gTLD全体のタイムライン



次回新gTLD申請受付ポリシー策定の現状について

- 2012年新gTLD申請ファーストラウンド受付が終了して、3年を経過して新gTLD申請受付に対するポリシーのレビューと改善対応が2016年1Qに開始。
- New gTLD Subsequent Procedures Policy Development Working Group（次回新gTLD申請受付ポリシー策定のワーキンググループ）が2015年Q4に開始。
- 新gTLD申請に係り、法的、技術的、金融的、または制度的な課題を協議し、ポリシーを策定する。以降の申請受付は、このワーキンググループが決めるポリシーに従う。

- 現在まですべての課題の協議ができています。
- WGは、ICANNコミュニティから意見を募集する形で、Community Comment (CC)の1と2を実施。
- 現在、各作業トラックのミーティングで、CC2で獲得したコメントをレビュー中。
- 以下のテーブルの課題に対して、それぞれの担当グループで草案をとりまとめ中。

担当グループ	役割	課題
全体のWG	Overarching Issues	Cancelling Subsequent Procedures Predictability Community Engagement Applications Assessed in Rounds Different TLD Types

担当グループ	役割	課題
作業トラック1	Overall Process	Competition, Consumer Trust, and Consumer Choice Applicant Guidebook (AGB) Clarity of Application Process Accreditation Programs Systems Application Fees Communications Application Queuing Application Submission Period Support for Applicants From Developing Countries Variable Fees
作業トラック2	Legal & Regulatory Issues	Reserved Names Base agreement Registrant Protections Contractual Compliance Registrar Non-Discrimination Second-Level Rights Protection Mechanisms Registry/Registrar Standardization Global Public Interest IGO/INGO Protections Closed Generics Terms and Conditions

担当グループ	役割	課題
作業トラック3	String Contention, Objections & Disputes	Applicant's Freedom of Expression String Similarity Registrant Protections Accountability Mechanisms Community Applications
作業トラック4	IDN & Technical & Operations	Internationalized Domain Names and Universal Acceptance Registrant Protections Applicant Reviews Name collisions

ICANN59の動き

- ポリシー策定の基礎となる6点の包括的な課題が議論された。
- 既に意見が一致した2点の課題：
 - 今後、新gTLD申請受付が行われることに対して意見が一致
 - 申請者あたりの申請数を制限する必要がないことに対して意見が一致
- 未解決の4点の課題を解決するため、3つのドラフトチームを結成
 - 異なるTLD種
 - 予測可能性、コミュニティとの関り
 - 申請受付の形式
- 今後ドラフトチームが草案を作成する予定である。

担当グループ	対象課題	議論の結果
作業トラック1	Applicant Support RSP Program	<p>申請サポートとは、申請料金の支援のためのサポート。課題はサポートを求めた申請者が少なく、応募してサポートを得た申請者はさらに少ない。条件が厳しすぎて改善する必要がある場合は、TLD運用に係る技術的及び長期的な費用負担を対応できるビジネスプランを申請者が用意すべき。</p> <p>RSPプログラムは、ICANNがTLDのバックエンドサービスプロバイダーを検証制度化すること。ICANNが事前に技術対応性を検証して、バックエンドサービスプロバイダーのテストを減らし、スムーズに対応できるようになれば以降の頻繁なテストを行う必要がなくなる。現在、RySGがポリシー策定と同時にプログラムに必要な条件をICANNスタッフと協議中である。</p>
作業トラック2	Closed Generics	<p>Closed Genericsとは、一般名称のgTLD (.bookや.blog) をレジストリが独自かつ独占的に運用する課題である。ファーストラウンドで、ICANN理事会では中止されたが、ポリシーのルールを作成する必要がある。議論は、新型のTLDのイノベーションである、また公益を反するという賛否両論がある。可能にする場合、どのような保護メカニズムを導入できるか、現在の協議中である。</p>

担当グループ	対象課題	議論の結果
作業トラック3	GAC Early Warning - Impact On Predictability	<p>GAC Early Warningとは、GACメンバーである各国政府からTLD申請文字列についての警告のことを指します。これに対して複数の課題点がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ファーストラウンドのEarly Warning結果は、491の申請者と211のユニークな文字列に対して下りた。申請を取り下げたのは、2件のみだった。 Early Warningは、GACアドバイスと異なり、GACの一見一致に至っていない勧告である。後からGACアドバイスがあった場合、申請者に対しての影響が大きかった。 GACからの早期的な勧告を予測しにくい。ICANNは、GACを制限する権利があるかどうか、疑問点である。 <p>結果：GAC Early Warningがあった際、申請文字列は、どのような損害を与えるか、GACに明確にしてもらう必要がある。</p>
作業トラック4	IDN Variant TLD Name Collision	<p>IDN Variant TLD Policyとは、多言語異体字（図書館、图书馆）をTLDとして申請する場合、既存のTLDと類似し混乱が生じる場合は申請できないこと。今後、異体字のいくつかのパターンを持つ文字列は、申請可能になるための草案が紹介された。</p> <p>Name Collisionは、インフラとインターネットの間、同じドメインネームがある場合、名前衝突が生じることを意味する。ファーストラウンドにポリシーになかったが、実施されたName Collision和解計画に基づいてポリシー策定の草案が紹介された。</p>

Geographic Names at the Top Level

Geographic Names at the Top Levelとは、TLDレベルで地理的名称と一致する新gTLDの申請に対するルールと扱いのことである。2012年の新gTLDファーストラウンドに地理的名称の扱いに関するルールがあった。

- **すべての2文字（文字・文字: mf, um, dd）は予約**
- **国名もしくは領地名は申請禁止**
- **都市名、州・県名、地域名は、政府からのサポートもしくは無異議あれば、申請可能**

但し、ファーストラウンドに定義されなかった地理的名称のTLD申請に関する大議論があったため、次回新gTLD申請受付ポリシー策定に議論し、ポリシーフレームワークをまとめる必要がある。

このルール作りを行うことは、何度も行われている。

2007年
GNSOが地理的名称を異議申立手続きで保護すると決定。

2013年
申請手続き中にAGBと異なる扱いが採用。結果として、.amazonなどが中止に。

2017年
CCWGはルールを決定できず、解散。新gTLDポリシー策定WGが案件を引き継ぐことに。

2011年
ICANN理事会はAGBにGNSOポリシーと異なる地理的名称を定義。

2014年
トップレベルで国名・地域名のCCWGが結成。

WGは、地理的名称に関わるすべてのステークホルダーの意見を考慮したポリシー議論を行った。

- ICANN59開催前の2017年4月25日にステークホルダーから意見共有を行うためのウェビナーを開催。
- ICANN59でステークホルダーから受けた意見をストローマンにまとめ、ストローマンの提案について、更にコミュニティーと協議を行った。

結果として、以下のハイライトがあった。

- 地理的名称TLD、ブランドTLD、知的財産権、政府、その他レジストリからの意見共有があった。
- ICANN59で、主に政府と知的財産権の間の議論があった。
 - 政府として既にルールがあるため、再度ポリシー検討に疑問。
 - ブランド側は、ルールはまだ未完成であるため、フェアなルールを要決定
- GNSOのポリシー策定WGに地理的名称TLDのポリシー策定を行うことに疑問
- ストローマンに対するサポートは少なかった。

ICANN59では、まだ多くの議論があり、今後、すべてのステークホルダーの立場を配慮するため、WGに作業トラック5を結成することになった。

共同司会者は、以下のICANN下部組織・諮問委員会から募集される。

- GNSO
- ccNSO
- GAC
- ALAC

現在、作業トラック5の共同司会者を募集中である。

当資料に関するお問い合わせは、お手数ですが下記までお願い申し上げます。

GMOブライツコンサルティング株式会社

担当 : Michael Flemming

Email : newgtld@brights.jp

T E L : 03-3463-1248

- 当資料の著作権は、GMOブライツコンサルティング株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。